

各局トップ「成功への情熱」

12月1日、新4K8K衛星放送がスタートする。「まだ市場は盛り上がっていない」というのが率直な見方だろう。一般社団法人放送サービス高度化推進協会（A-PAB）の市場調査でも、一般視聴者の視聴意向が低いという結果になった。しかしまだ放送が開始されたばかりだ。これから各放送局は、新4K8K衛星放送ならではの魅力的な編成や番組内容の計画を本格的にPRし始める。市場が盛り上がるのはこれからだ。本特集では、普及のハードルが高い左旋放送局各社トップの「成功への戦略と情熱」をまとめた。また世界初の8K衛星放送アップリンク施設（B-SAT）、新放送への期待が高まるケーブルテレビの取り組み状況とACASサービスなどもレポートする。（渡辺 元・本誌編集長）

A-PABが発表した 4K・8K市場調査の結果

12月1日の新4K8K衛星放送開始まで1カ月を切った11月5日、気になる調査結果が発表された。一般社団法人放送サービス高度化推進協会（A-PAB）が行った「4K・8K放送市場調査結果」だ。

この調査は、2018年9月時点での4K・8K放送に関する認知・視聴意向・普及状況について調べたもの。調査手法はWEB調査、調査対象エリアは全国47都道府県、調査対象者は上記エリアに居住する男女20歳～69歳、サンプル数は計5,000サンプル（住民基本台帳の性年代構成に基づいて割付）、調査期間は2018年9月29日（土）～30日（日）だ。

主な結果は次のようになっている。4K・8Kの認知状況については、「4K」という言葉を知っている人（「知っているような気がする」を含む）は約9割（86.3%）。4K・8K放送の視聴意向については、4K放送を視聴したい人（「ぜひ視聴したい」＋「まあ視聴したい」）は全体の4割（39.9%）。ただし、4K放送を「ぜひ視聴したい」人は全体の約1割（11.6%）。4K・8Kテレビの普及状況については、4Kテレビ所有者は2018年9月時点で6.0%となっており、増加傾向にある。4K・8K放送への理解については、新4K8K衛星放送の4K放送を見るには、「4Kテレビに加え、対応チューナーも必要になる（または、4Kチューナー内蔵テレビが必要）」と回答した人は約2割（22.7%）。そして4K・8Kの視聴経験については、4K・8K映像を見たことがある人は、「4K」か「8K」の言葉を知っている人の約4割（39.4%）。その内の約9割（88.0%）が電気店店頭で見たと回答した。

特に4K放送を「ぜひ視聴したい」人が全体の約1割に過ぎないという調査結果は、新4K8K衛星放送開始直前の時期に水を差す低い数値として一般向けメディアでも報じられた。だが、実際に放送が開始

11月14日、Inter BEE 2018基調講演に勢揃いした新4K8K衛星放送各局のトップたち



される2カ月以上前という時期の調査結果としては、この数値は必ずしも「低い」とは言えないのではないだろうか。

総務省情報流通行政局衛星・地域放送課長 井幡晃三氏は、調査結果発表前の本誌インタビューで、放送開始後に4K・8Kの表現力を駆使したビュア4Kコンテンツや4Kオリジナルコンテンツが増えることによって、視聴者数も増えていくと期待する。

「新4K8K衛星放送は当面、2Kと4K・8Kが併存する形で放送が行われます。その中で従来の2Kコンテンツと4K・8Kコンテンツをどう差別化していくのが大切です。4K・8Kは今までの2Kではできなかったような映像表現ができるわけですから、現場で放送番組を制作されている皆さんは、新しいチャレンジを試みたいという熱い思いを持っていらっしゃるという話も聞いています。そうした積み重ねが、新4K8K衛星放送の魅力を高めていくのではないのでしょうか」

左旋放送局トップの 調査結果への意見と決意

今回の調査結果について、新4K8K衛星放送はどのように捉えているのだろうか。本誌は新しい対応

アンテナが必要になるなど、視聴者獲得の課題が特に大きい左旋放送の各放送局トップ・幹部に、緊急のコメントを寄せてもらった。質問内容は、①今回の調査結果への感想、②「ぜひ視聴したい人」を増やすために、自社や関係者（他の新4K8K衛星放送事業者、A-PAB、NHK・キー局、家電店、メーカー、ケーブルテレビ事業者、総務省など）は何をすべきか、の二点だ。

株式会社スカパー・エンターテインメント 代表取締役社長 古屋金哉氏は、次のようにコメントした。

「先行した4K対応テレビの普及台数がまだ500万台程度であり、また本格的な放送も12月からというタイミングでの調査なので、数値は理解できません。新4K8K衛星放送が始まり、対応する4Kテレビも来春までに主要各社から続々と発売されると、家電店を中心に盛り上がりが出てきて理解促進も進んでいくと期待しています。一方で、左旋を使う8Kや弊社4K放送受信にはアンテナや屋内配線なども交換が必要なおことと理解など、関係各位が継続的に取り組んでいく必要があると考えています。

4K8K衛星放送は、テレビの大型化とともにニーズが確実に出てくると考えています。直近で販売されているテレビのサイズは平均で50インチを超